平成 29 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

# 成果報告書

一般社団法人　大阪府専修学校各種学校連合会

平成 29 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

# 成果報告書

一般社団法人　大阪府専修学校各種学校連合会

## １．委託事業の概要

（１）内容

各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備

「大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業」

（２）事業実施期間

平成 29 年 11 月 31 日～平成 30 年 3 月 14 日

（３）委託事業の目的

大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)は、これまで外国人留学生(以下、留学生)の受入れだけでなく、就職に至るまで積極的に組織として推進してきた。具体的な活動として、専修学校と日本語学校の連携を強化していくために、出前授業と称して、大専各加盟校が日本語学校に赴き、出張授業を行なうスキームを構築するだけでなく、研修として日本語教職員と専修学校教職員が一同に集う場も定期で設けている。また専修学校卒業後の進路として、就職実績につながる取組としても、企業とともに留学生採用、人材活用といった事例を考える交流会も行なっている。ならびに国内的な動きだけでなく、ベトナムをはじめとする海外教育機関とも積極的に接触を図ってきた。以上のような活動から大阪府における専修学校の留学生受入れ数は、平成 26 年度－平成 28 年度と比較しても、180％増（＋2,352 人）となっており、留学生数増加の一翼を担っている。

また卒業後の就職実績についても、団体としてまとまった調査数値はないものの、「留学生情報カード」から掲載している学校から引用すれば、全国平均と比較しても非常に高い数値となっている。今回の実施する「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」は、このように今まで成果がでている活動を継続・発展していくことに重きをおいている。そして目的として、今後も大阪における留学生数が順調に推移していくだけでなく、留学生の更なる就職率向上につなげることで、量的質的ともに高い結果をもとめ、事業そのものが他エリアの先進的なモデルケースとなるように進めていく。その為に本事業は「広報事業」「研修事業」と 2 つの柱を立てる。広報事業は、組織的に国内外への専修学校の魅力や認知につとめ、研修事業では、企業や日本語学校との連携強化につとめるものとする。

## ２．会議の開催

（１）会議の開催

◆実施委員会

・平成 29 年 2 月 9 日（金）開催

大阪の専修学校（主に専門学校）の魅力を国内外へ向けて発信するうえで、留学生の生活や就職といった面でも高い成果を求めていくことが必須である。その為に本事業「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」では、産官学の連携強化をし、前出の「広報事業」「研修事業」へ企業・行政等と連携・実務協力を得るために、下記団体を招集し実施委員会を開催した。また、最終段階での「広報事業」「研修事業」内容の確認、修正と経過報告および今後の発展・活用について意見聴取を行った。

◆ワーキング会議

・第 1 回平成 29 年 12 月 8 日（金）
・第 2 回平成 29 年 12 月 22 日（金）
・第 3 回平成 30 年 1 月 12 日（金）
・第 4 回平成 30 年 1 月 26 日（金）
・第 5 回平成 30 年 2 月 9 日（金）
・第 6 回平成 30 年 3 月 2 日（金）

事業実施のための現状把握、課題の共有を行ない、各事業の構成について議論するための会議を開催した。

（２）具体的な連携内容について

【ＴＣＥ財団】

大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業の遂行にあたり、協力及び助言を得た。

【大阪商工会議所】

大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業の遂行にあたり、大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業において大阪の企業への周知と呼びかけの協力を得た。

【日本貿易振興機構（ジェトロ大阪）】

大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業の遂行にあたり、企業の要望、留学生受け入れの傾向など実施委員会に出席、協力及び助言を頂いた。

【大阪府】

大阪型専修学校グローバル化対応推進支援事業の遂行にあたり、実施委員就任、行政の面からの協力及び助言を頂いた。

## ３．事業実施内容

（１）事業名

**広報事業**

① 「専門学校グローバル人材魅力発見 BOOK osaka 2018」の制作・発行

② 海外 8 カ国へ向けた映像コンテンツの制作・配信

③ 留学生支援サイトの維持・運営

**研修事業**

④「日本語教育機関と専修学校との連携による外国人留学生教育研修会」

（２）実施内容

① 「専門学校グローバル人材魅力発見 BOOK osaka 2018」の制作・発行

大阪の訪日外国人数が 2017 年の 1 年間ではじめて 1000 万人の大台を突破して 1111 万人に達した。

「くいだおれ」の街、大阪の食文化に対する人気と京都、奈良、神戸の中心に位置する観光拠点としての人気が訪日外国人数を押し上げているが、大阪の魅力はこれだけではない。「お笑い」の文化が根付くエンターテイメントと人情味豊かな大阪は、古くからあきんどの街として栄え、世界最先端の技術力を誇る数多くの企業がものづくり大阪の基盤を作りあげている。このような風土の中、インバウンドに関連して留学生を積極的に活用しようとする企業が増える一方で、より日本語力や技術力の高い留学生を採用しようとする機運が高まっている。

本年度は「専門学校留学生の日本就職、日本企業就職（なかでも特に大阪を中心とする関西圏の就職）」をキーとしたガイドブックを念頭に置き、留学生の活用を考えている企業の方々をメインターゲットに設定して冊子作りを目指した。また掲載対象となる国籍は最近の留学生数の伸び、日本との関係性が今後ますます重要視されることが予想されることなどに鑑み、ベトナム、インドネシア、ミャンマーの３国に的を絞り、受け入れ先となる専門学校の分野についても先述の大阪の特色から「工業」「商業実務」「文化・教養」の３分野に絞り込んだ。

大阪の専門学校が留学生に行なっている実践的かつ意欲的な職業教育の内容ならびに先進的な取り組みの現状が理解できる内容など、大阪の専門学校で学ぶグローバル人材の魅力を具体的に説明して企業の留学生採用担当者の方々に役立てていただける情報誌となっている。

※別紙添付資料（PDF データ及び実施報告書添付資料）参照

② 海外 8 カ国へ向けた映像コンテンツの制作・配信

大専各でも、今まで海外広報は、ベトナムやインドネシアといった国の現地教育機関との交流という意味での広報活動は行なってきた。そこでは、海外の現地で優秀な日本語教育を行なっている大学などと関係性は築けたものの、別側面では課題が残った。1 つ目は大阪の知名度の低さ、2 つ目は専修学校、職業教育への理解が浅く、『大学＞専修学校』という認識になっている。しかし、良くわかった事は、専

修学校が持つ就職実績には、大変な興味を示していた。このような背景から、広報事業として、海外向けに大専各という組織で課題と訴求すべき特徴を行なっていく必要がある。よって本事業の告知・周知等を高め、国内外への情報発信に努める。

初年度事業は、海外広報活動の一環として、『映像コンテンツ』を製作し、それを海外にむけて配信していく。この番組は留学先としてアジアの国々から日本への注目が高まっている今、職業教育に力を入れている大阪の専門学校の魅力を、現在学んでいる留学生達自身によって、大阪の魅力や大阪の専門学校での学び、また事前にアンケート調査を行ない、実際に生活し勉強しやすいのか等、リアルな大阪での学びをアジア各国の若者に伝える番組となっている。また利用・活用を総合的に考え、海外でメディアコンテンツの展開を既に行なっている『WAKUWAKU　JAPAN』を利用し、下記の通り配信を行った。

※別添 DVD 参照

【映像コンテンツ　仕様】

１．番組名　　Enjoy studyimg in Osaka, Japan

２．尺　　1 番組（23 分）　とダイジェスト版 CM（60 秒）を製作

３．構成　　大専各が掲げている大阪という「街」「人」「職業教育」「専門学校」という魅力を伝えられる映像コンテンツ。具体的に専門学校で学ぶ留学生が登場し、事前に留学生２４８人にアンケート調査した内容を踏まえ、前述の魅力を語る。

４．配信国　　インドネシア・ミャンマー・ベトナム・台湾・シンガポール・タイ・スリランカ・モンゴルの８カ国

５．配信時期　　２０１８年２月１８日～２月２７日

WAKUWAKU　JAPAN番組放送に関する内容

| 放送国 | 放送言語 | 放送回数 | サービス | CM 放送数 | 映像納品 |
|---|---|---|---|---|---|
| インドネシア | インドネシア語（字幕） | 3回 | 2回 | 100本 | インドネシア語 |
| ミャンマー | 英語（字幕） | 3回 | 3回 | 100本 | ビルマ語 |
| ベトナム | ベトナム語（字幕） | 5回 | | | ベトナム語 |
| 台湾 | 繁体字（字幕） | 3回 | 3回 | 100本 | 繁体字 |
| シンガポール | 英語（字幕） | 3回 | 2回 | 100本 | 英語 |
| スリランカ | 英語（字幕） | 3回 | 2回 | 100本 | 英語 |
| モンゴル | 英語（字幕） | 3回 | 2回 | 100本 | 英語 |
| タイ | タイ語（吹替） | 1回 | 0回 | 20本 | 英語 |

WAKUWAKU　JAPAN　放送タイムスケジュール

| | | | インドネシア | ミャンマー | ベトナム | 台湾 | シンガポール | スリランカ | モンゴル | タイ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2月 | 18 | 月 | | | | | | | | 10:00 |
| | 19 | 火 | | | | | | | | |
| | 20 | 水 | | | | | | | | |
| | 21 | 木 | | | | | | | | |
| | 22 | 金 | 19:00 | 18:30 | | 19:00 | 19:00 | 17:30 | 20:00 | |
| | 23 | 土 | 11:30 | 11:00 | 17:00 | 17:00 | 11:30 | 10:00 | 12:30 | |
| | 24 | 日 | | | 17:00 | | | | | |
| | 25 | 月 | | | 17:00 | | | | | |
| | 26 | 火 | 19:00 | 18:30 | 17:00 | 19:00 | 19:00 | 17:30 | 20:00 | |
| | 27 | 水 | | | 17:00 | | | | | |
| | 28 | 木 | | | | | | | | |
| 放映回数 | | | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 |

| WAKUWAKU JAPAN 「サービス」 放送タイムスケジュール | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | インドネシア | ミャンマー | ベトナム | 台湾 | シンガポール | スリランカ | モンゴル | タイ |
| 2月 | 18 | 月 | | | | | | | | |
| | 19 | 火 | | | | | | | | |
| | 20 | 水 | | | | | | | | |
| | 21 | 木 | | | | | | | | |
| | 22 | 金 | 29 :00 | 28 :30 | | 26 :00<br>28 :00 | 29 :00 | 27 :30 | 30 :00 | |
| | 23 | 土 | | 9 00 | | 9 :00 | | | | |
| | 24 | 日 | | | | | | | | |
| | 25 | 月 | | | | | | | | |
| | 26 | 火 | 29 :00 | 28 :30 | | 28 :00 | 29 :00 | 27 :30 | 30 :00 | |
| | 27 | 水 | 11 :30 | | | 17 :00 | 11 :30 | 10 :00 | 16 30 | |
| | 28 | 木 | | | | | | | | |
| 放映回数 | | | 3 | 3 | 0 | 4 | 3 | 3 | 3 | 0 |

【映像コンテンツの配信・公開について】

1. 映像コンテンツは、WAKUWAKU JAPAN が既に持っている海外 8 ヶ国での CS（一部地上波）TV で放映した。
2. 番組以外に 60 秒のダイジェスト版も製作し、CM 投下する。
3. 映像コンテンツは、以下の Web サイトに掲載する（リンク）。
   「大専各　留学生支援サイト」　http://www.daisen-ryugaku.com/
   「TCE 財団サイト」　http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/index.html
   「日本教育基盤財団サイト」　ページ調整中
4. 2/23（金）大阪で開催する日本語教育・職業教育国際シンポジウム内での放映。
   ならびに海外ゲスト 13 名への映像コンテンツ DVD を寄贈。

③　留学生支援サイトの維持・運営

WEB 上でのワンストップサービスを目指し構築した国内・海外向け留学・就職支援サイトのコンテンツの充実により活性化を推進する。大専各では、オフィシャル Web サイトとは、別に留学生や日本語教育機関に情報を発信できるように、「留学生支援サイト」を既に持っている。

（http://www.daisen-ryugaku.com/）現在同サイトでは「日本留学を目指す人」「留学生送り出し機関」「企業」の多方面にむけた情報発信をするプラットホームとして活用しているが、課題として、現状のサイト構成は、完全に国内からのアクセスのみを想定しているものとなっている点があげられる。海外の留学前、留学を検討している潜在層へのアプローチと日本留学への動機付けに役立つ情報発信と認知促進のためサイトをより活性化させる事を主眼とし、アクセスしてくるユーザーの動向を収集する仕組みの導入とともにサイトの充実と活性化で「関西」と「専門学校職業教育」の普及及び本事業の告知・周知等を一層高め、国内外への情報発信に努める。

今後の専修学校のグローバル化を推進していく意味でも、海外からのアクセスに対して、応えられる構成、具体的には対応する言語頁を設けることが急務である。対応する海外言語は、今年度は、英語・繁体字・簡体字・ベトナム語の 4 言語とし、次年度以降でインドネシア語・ビルマ語など状況により、対応言語の拡大を検討していく。なお、多言語頁は、サイト構成を複雑化させないために 1 言語 1 頁の

シンプルなものとしスマートフォン対応のためワンカラム構成にした。
多言語頁のタイトルは、「大阪の」専門学校で勉強しよう！とし、まず専門学校における職業教育の説明を行った。大阪の情報は総務省、厚生労働省のデータを基に
１．食費や住居費等の生活のためにかかるお金が安い！
２．平均年収は全国平均+100 万円以上！
３．全国で一番教育熱心！
の 3 点を特徴として記載した。
　また、「広報事業－①.②」に該当する『専門学校職業教育 魅力発信ＢＯＯＫ』『映像コンテンツ』もサイト上で閲覧できるようにすることにより、今まで以上にサイト内のコンテンツが充実していくように設計した。今年度 3 月上旬にサイトをアップした。
　今後の検証材料を得るためサイトには google　Analytics のタグを埋め込み、ログ解析を実施する。今年度はサイトのアップから現在まで期間が短いので、今年度のログ解析を基準にして経時的な変化を調査する。また、今後はフォームツールの導入を検討し、アクセスしてきたユーザーのニーズ、目的とするコンテンツへの誘引力の強化、ユーザー情報の積極的取得が可能なサイト構築を目指す。
　具体的成果として、「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」としてのプラットホームとなり得るよう、国内・海外での大阪の職業教育の質の高さや、日本企業が求めるグローバル人材への啓蒙に寄与し、専修学校への理解促進を図るものとする。
客観的活動指標は、本事業から取組むログ解析をもとに、定点観測を行ない結果に結び付けていく。
ターゲット 1.　国内の日本語教育機関に在籍している留学生
ターゲット 2.　国内の日本語教育機関の教職員
ターゲット 3.　国内の留学生採用意欲ある（予備軍含む）企業
ターゲット 4.　海外に在住し、日本留学に興味がある方
ターゲット 5.　海外の日本語教育機関（留学生センター、大学など）
　KPI としては、取組②と同様に、3 年後に月間で 1,000 件以上の海外からのアクセスがくる Web サイトを目指す。
　（月間での海外からのアクセス数　2 年目 600 件　3 年目 1,000 件）
　国別アクセス数は、GoogleAnalytics を導入し、レポートを作成しアクセス解析を行い、アクセス数の推移等を計測する。
次年度以降は、ログ解析をもとに改善点や特徴を見出し、更新していく。特に今後、重要視していきたいのが、現段階において多くの国で利用者数が高く、今後の活用が期待できる Facebook などの SNS を活用していくことである。またアクセス数の増加、フリークエンシーの拡大、ひいては留学の問い合わせ獲得のためにも、対応言語自体と各国言語に対応したコンテンツの拡充、及び検索エンジン最適化への対策も必要不可欠である。また各学校の情報についても映像、写真等のリッチコンテンツの作成・充実とともに情報の多言語対応が欠かせない。そして海外からの検索エンジン最適化に適したサーバー構成、ソースコードのチューニングなども必要である。それらに伴い取り組みの性質上、中長期的に成果を上げ続けられる価値あるサイトにしていく側面からも、当サイトにおけるコンテンツマーケティングは中長期視野を持って取り組むべきである。よって次年度はその企画準備についても十分な時間を費やせるよう、早期に取り組みを開始したい所存である。

サイト全体図



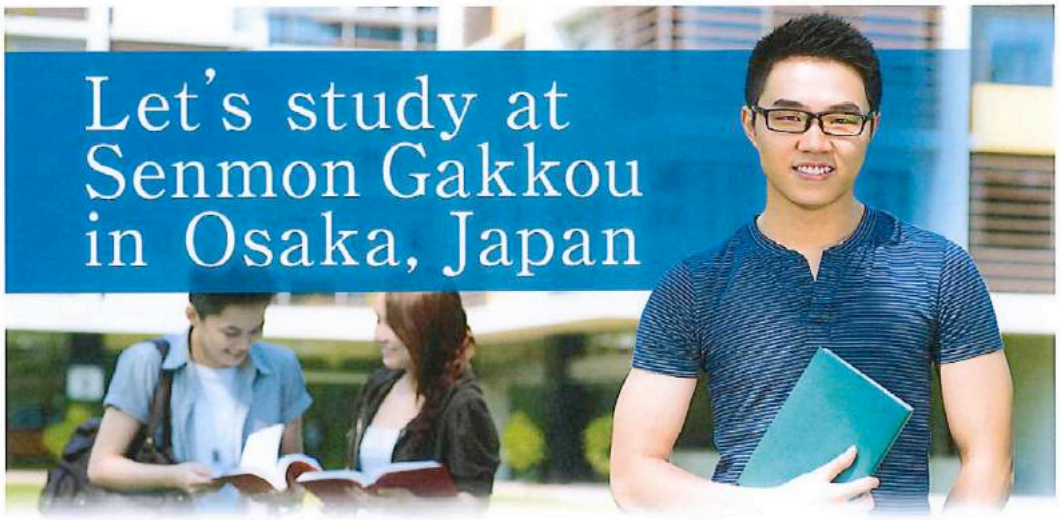
一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会 大専各留学生支援サイト

大専各 留学生支援サイト

お問い合わせ 会員専用ページ (交流広場)

英語 | 繁體字 | 简体中文 | Tiếng Việt

HOME 育成ガイド 日本留学を目指す方へ 教育機関の方へ 企業の皆さまへ 大専各とは 新着情報




## [Senmon Gakkou] Educational institution that boosts your employment chances. What is [Senmon Gakkou]?

A Senmon Gakkou is an institution of higher education that is equal to universities and focuses in the mastery of knowledge and field experience that is more practical than a university. Therefore, the employment rate tends to be higher than that of university graduates.

You can enroll in a Senmon Gakkou as an international student as well. If you study Japanese in your home country and pass the Japanese Language Proficiency Test N2 or above, you can directly enroll into Senmon Gakkou in Japan.

## 1. Affordable living cost

According to the data on Retail Price Statistics Survey published by the Statistics Bureau of the Ministry of Internal Affairs and Communications, Osaka is said to be lower on living-related expenses than the national average, except for educational expenses.

In short, living expenses are affordable.

Source: Ministry of Internal Affairs and Communications statistics Bureau Retail Price Statistics Survey Reference Results for 2015.

## 2. Higher than average national income up to 1 million yen, and tremendous job opportunities

There are indeed many listed companies in Tokyo, but the number of medium or small sized companies are comparable to Tokyo.

The number of job offers is second in the country. Which mean Osaka has many job opportunities. The number of applicants continue to increase because the annual income in Osaka is higher than the national average by 1 million yen.

Source: Ministry of Health, Labor, and Welfare "Occupational Stabilization Work Statistics"

## 3. Educational hub of Japan!

In Osaka, living expenses are affordable, there are many job opportunities because there are many companies, and the salaries are higher than the national average.

This begs the question, where do you think the people of Osaka spend their money?
That's right, in education. Osaka is ranked top in term of expenditures used for children education. The educational institutes in Osaka are conglomerate of passionate educators that are set to deliver quality graduates.

Source: Ministry of Internal Affairs and Communications statistics Bureau Retail Price Statistics Survey Reference Results for 2015

PAGE TOP

**日本留学を目指す方へ**
ニュース・セミナー情報
日本留学について
卒業生の活躍状況
留学についてのQ&A

**会員専用ページ**

**教育機関の方へ**
ニュース・セミナー情報
教材提供サービス
交流広場
よくあるご質問
各種申請書一覧
出入国管理法改正について
留学生30万人計画について

**企業の皆さまへ**
ニュース・セミナー情報

**大専各とは**
留学生委員会委員長挨拶
文部科学省総合支援プラン
活動実績
留学生受入機関一覧

**留学生職業人育成ガイド**
ご挨拶
専門学校の概要
外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識
インターンシップ受け入れ企業の声
採用企業の声
留学生の受け入れ状況
日本の企業で活躍する卒業生
母国の企業で活躍する卒業生

リンク集
個人情報保護方針
著作権・免責事項
お問い合わせ
サイトマップ

2018 Daisenkaku © All rights reserved



サイト URL
（日本語版）http://www.daisen-ryugaku.com/　（英語版）http://www.daisen-ryugaku.com/lp/en/
（繁體字版）http://www.daisen-ryugaku.com/lp/hantai/
（简体中文）http://www.daisen-ryugaku.com/lp/kantai/
（ベトナム語版）http://www.daisen-ryugaku.com/lp/vietnam/

④　「日本語教育機関と専修学校との連携による外国人留学生教育研修会」

大専各では出前授業という事業で日本語教育機関に赴き、出張形式で大専各加盟校が、体験授業や講義など行なっている。専修学校・日本語教育機関ともに年々利用する学校数が増えてきており、良い傾向である。そういった中で、専修学校と日本語教育機関がより連携していく取組として、以下のような研修会を計画した。

『留学生の日本国内就職』は、重要な課題であることから、具体的に「日本語教育機関と専修学校との連携による外国人留学生教育研修会」を開催し、まずは日本語教育機関担当者に専修学校の職業教育を理解してもらい、外国人留学生が専修学校進学後の専門教育に適合出来得るよう、連携可能な施策等の意見交換を行なう場とする。

そして初年度は、従来実施してきている専修学校職業教育普及の観点での取り組みを、専修学校と日本語教育機関との連携により、新しい課題へと共同解決の視点も入れて、研修会を行なった。

日本語教育機関、専修学校の共通の課題となっている非漢字圏留学生の日本語教育の方法論や日本語によるコミュニケーションのノウハウ、日本国内就職に向けた指導体制等をテーマに、二つの学校群の外国人留学生受け入れ担当者研修を開催した。

また研修をより効果的にするため、テーマに合わせた意見交換会の組み合わせと実施した。

なお当日のプログラムは以下の通りである。

平成 29 年度 文科省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

# 「日本語教育機関と専修学校との連携による外国人留学生教育研修会」

【主　　催】一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会
【日　　時】平成 30 年 1 月 29 日（月）／　14：00～17：00
【会　　場】大阪私学会館　3 階 301～303 号室

| 時間 | プログラム |
|---|---|
| 13:30~14：00 | 受付　　司会：中山　羊奈 |
| 14:00～14:05 | ・挨拶<br>(一社)大阪府専修学校各種学校連合会　留学生委員会委員長　長谷川　惠一 |
| 14:05～15:35 | 1. 講演<br>「やさしい日本語」を使った外国人とのコミュニケーション<br>一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）講師　澤田 幸子<br>著書「みんなの日本語」「日本語読み書きのたね」「日本語おしゃべりのたね」等 |
| 15:35～15:45 | ＜休憩＞ |
| 15:45～16:15 | 2. 事例発表<br>「外国人留学生の日本国内就職 100%を目指した取り組み<br>（入学前教育～専修学校入学後の日本語サポートについて)」<br>大阪工業技術専門学校　浜野　哲二 |
| 16:15～16:45 | 3. 意見交換会<br>「日本語教育機関と専修学校との連携を考える」(入学前教育への取組み等について) |
| 16:45～17:00 | 4. 名刺交換会(自由交流) |

参加者 78 名
日本語教育機関　22 名
専門学校　　45 名
（専門学校・日本語学科　5 名）ワーキングメンバー　11 名　　アンケート回答者 61 名

平成 29 年度　文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

# 日本語教育機関と専修学校との連携による
# 外国人留学生教育研修会　アンケート

本研修会にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想やご意見をお聞かせください。ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

～以下、いずれかに☑チェックを入れてご回答ください～

1．どの教育機関に所属をされていますか？

□①日本語教育機関　　□②専門学校（日本語学科等）　　□③専門学校（専門課程）

2．学校内での業務についてお答えください。

□①日本語教員　　□②専門学校教員　　□③事務系職員等　　□④その他

3．日本語教員、専門学校教員の方にお伺いします。留学生に授業を行うに当たり困っている事は何ですか？

| |
|---|
| |

4．各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。

1）.＜　講　演　＞「やさしい日本語」を使った外国人とのコミュニケーション

□①大変参考になった　□②参考になった　□③あまり参考にならなかった　□④参考にならなかった

2）-A.＜事例発表＞「外国人留学生の日本国内就職 100％を目指した取り組み」

□①大変参考になった　□②参考になった　□③あまり参考にならなかった　□④参考にならなかった

2）-B.日本語教育機関、及び専門学校（日本語学科等）で業務に携われている方にのみお伺いします。

※専門学校の職業教育について、ご理解いただけましたでしょうか？

□①良く理解できた　□②理解できた　□③少しは理解できた　□④理解できなかった

| |
|---|
| ④理解できなかった、とご回答いただいた方のみ、お手数ですが参考までにご意見をお願いします。 |

3）.＜意見交換会＞「日本語教育機関と専修学校との連携を考える」

□①良い意見交換ができた　□②程よい意見交換ができた　□③良い意見交換とならなかった

| |
|---|
| ③良い意見交換とならなった、とご回答いただいた方のみ、お手数ですが参考までにご意見をお願いします。 |

4）.日本語教育機関及び専門学校（日本語学科等） と 専門学校（専門課程） との連携について、個人のお考えで結構です。今後、どのように進めたいとお考えですか？

□①是非とも進めたい □②可能な範囲で進めたい □③前向きに検討したい □④連携することは考えていない

| |
|---|
| ③連携することは考えていない、とご回答いただいた方のみ、お手数ですが参考までにご意見をお願いします。 |

5．本研修会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について

□①ちょうど良い □②もっと早くして欲しい（具体的に:___月頃） □③もっと遅くして欲しい（具体的に:___月頃）

2）実施時間について

□①ちょうど良い □②長すぎる（具体的に:___時間位ならよい） □③短すぎる（具体的に:___時間位ならよい）

6．今後についてご意見をお聞かせください。

1）今後、本日と同様の研修会があれば参加したいと思いますか。 □①はい □②いいえ

2）本日の研修会に関するご意見・ご要望がございましたら、何でも自由にご記入ください。

| |
|---|
| |

3）今後取り上げてほしいテーマがございましたら、ご記入ください。

| |
|---|
| |

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

※このアンケートによって提供いただいた情報は平成 29 年度 文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」の結果報告として使用致します

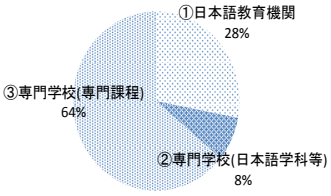
# アンケート集計

| 1.所属 | ①日本語教育機関 | ②専門学校(日本語学科等) | ③専門学校(専門課程) | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 17人 | 5人 | 39人 | | |
| | 28% | 8% | 64% | | |

①日本語教育機関

②専門学校(日本語学科等)

③専門学校(専門課程)



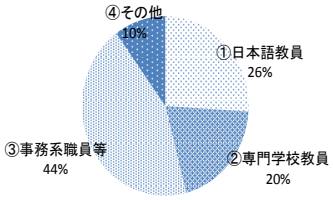

| 2.学校内での業務 | ①日本語教員 | ②専門学校教員 | ③事務系職員等 | ④その他 |
|---|---|---|---|---|
| | 16人 | 13人 | 27人 | 6人 |
| | 26% | 20% | 44% | 10% |

①日本語教員

②専門学校教員

③事務系職員等

④その他




## 3.日本語教員、専門学校教員の方にお伺いします。留学生に授業を行うに当たり困っている事は何ですか？

・漢字圏と非漢字圏の学生を分けるか混合にするか
・日本語の理解力不足
・決められたスケジュールを守らない（好き嫌い、自分には必要ないという理由を決めつけて授業に出てこない）
・非漢字圏学生の日本語能力が、これまでの授業レベルでは理解が追い付いていけない
・業界専門用語をどこまで理解させるのか？
・授業の進め方、日本語のスピードについて来れないことと専門用語のイメージがつきにくいことなどがある。
・日本語レベルが低いこと
・時間を守っていただけない事が困っています。
分からない事を、その時に話していただきたい。
・学費の支払い、就職、やる気
・日本語での授業が伝わっているか不安な時があるが、本日の「やさしい日本語」を使っていきたいと思います。
・現状受け入れていないので、どのようなことに困るかがわかりません。
・日本語学力向上、そのものもそうですが、生活面や進学面での指導も苦労しています。
・学習意欲が足りない学生
・ベトナム人留学生の退学率増加（出席率不足による卒業不可生の増加）ベトナム人の学習意欲不足
・日本語能力
・理解度のバラつき
・学習の動機付けや漢字指導
・語学力
・非漢字圏の学生にどの程度まで、漢字の読み書きを習得させるべきか。会話能力の誠に有効な指導方法の開発
・保険等の公的機関への提出物や更新の状況把握
・中上級の日本語の教え方。進路指導。
・進路指導
・非漢字圏留学生への指導

## 4. 各プログラムについて

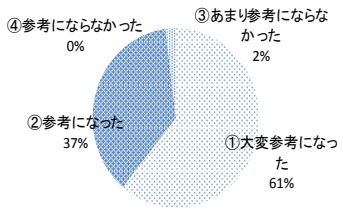
| ＜講演＞ | ①大変参考になった | ②参考になった | ③あまり参考にならなかった | ④参考にならなかった | |
|---|---|---|---|---|---|
| 「やさしい日本語」を使った外国人とのコミュニケーション | 36人 | 22人 | 1人 | 0人 | |
| | 61% | 37% | 2% | 0% | |

①大変参考になった

②参考になった

③あまり参考にならなかった

④参考にならなかった



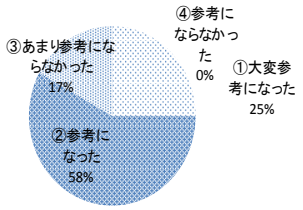

| ＜事例発表＞ | ①大変参考になった | ②参考になった | ③あまり参考にならなかった | ④参考にならなかった |
|---|---|---|---|---|
| 「外国人留学生の日本国内就職100%を目指した取り組み」 | 15人 | 34人 | 10人 | 0人 |
| | 25% | 58% | 17% | 0% |

①大変参考になった

②参考になった

③あまり参考にならなかった

④参考にならなかった




### 2)-B.日本語教育機関、及び専門学校(日本語学科等)で業務に携われている方にのみお伺いします。

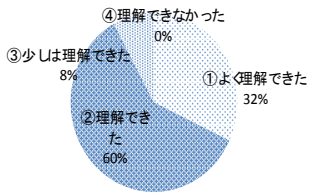
| 専門の職業教育について、ご理解いただけましたでしょうか？ | ①よく理解できた | ②理解できた | ③少しは理解できた | ④理解できなかった | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 12人 | 23人 | 3人 | 0人 | |
| | 32% | 60% | 8% | 0% | |

①よく理解できた

②理解できた

③少しは理解できた

④理解できなかった



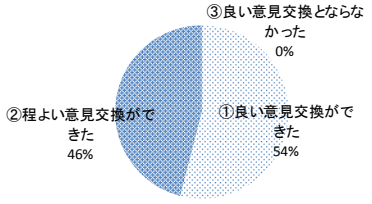
## 3).

| ＜意見交換会＞ 「日本語教育機関と専修学校との連携を考える」 | ①良い意見交換ができた | ②程よい意見交換ができた | ③良い意見交換とならなかった | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 32人 | 27人 | 0人 | | |
| | 54% | 46% | 0% | | |

①良い意見交換ができた

②程よい意見交換ができた

③良い意見交換とならなかった




## 4).日本語教育機関及び専門学校（日本語学科等）と専門学校（専門課程）との連携について

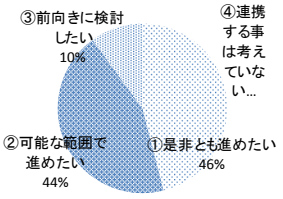
| 今後、どのように進めたいとお考えですか？ 1)開催時期 | ①是非とも進めたい | ②可能な範囲で進めたい | ③前向きに検討したい | ④連携する事は考えていない |
|---|---|---|---|---|
| | 28人 | 27人 | 6人 | 0人 |
| | 46% | 44% | 10% | 0% |

①是非とも進めたい

②可能な範囲で進めたい

③前向きに検討したい

④連携する事は考えていない




## 5. 本研修会の開催時期、実施時間について

| 1)開催時期 | ①ちょうど良い | ②もっと早くしてほしい | ③もっと遅くしてほしい | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 53人 | 4人 | 0人 | | |
| | 93% | 7% | 0% | | |

①ちょうど良い

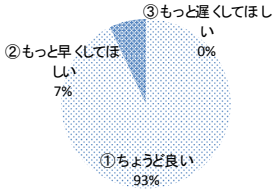
②もっと早くしてほしい

③もっと遅くしてほしい

10月頃　2人

11月頃　1人

春頃　1人



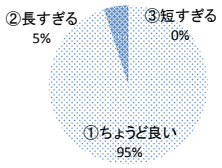

| 2)実施時間 | ①ちょうど良い | ②長すぎる | ③短すぎる | |
|---|---|---|---|---|
| | 54人 | 3人 | 0人 | |
| | 95% | 5% | 0% | |

①ちょうど良い

②長すぎる

③短すぎる

2時間ぐらいならよい3人

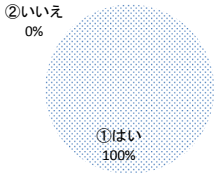



## 6. 今後について

| 6.1)今後本日と同様の研修会があれば参加したいですか。 | ①はい | ②いいえ | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 42人 | 0人 | | | |
| | 100% | 0% | | | |

①はい

②いいえ




## 2)研修会に関する意見（要望　自由記入）

●日本語教育機関
○専門学校（日本語学科等）
◆専門学校（専門課程）

●学生募集、専門用語の教え方、やる気の出し方など意見交換できました。やさしい日本語についての学内研修をしようと思いました。
●もっと意見交換の時間を増やしてほしい…
●介護系留学生の増加に伴う問題などについて
●専門学校で求められる日本語能力について生の声が聞けた。
●勉強に関するテーマを募ってもらったり、日本語学校に対するテーマ、要望があったりしてもよかった。
●もう少し意見交換の時間がほしかったです。

○各学校様ごとに問題だと考えるところが似ている点、異なる点があり参考になりました。

◆専門課程教員に留学生の魅力を伝えて頂きたく機会と設ける。同じテーブルの先生方とのざっくばらんな話ができる貴重な機会でした。
◆ありがとうございました。
◆「やさしい日本語」に対する理解が深まりました。是非とも現場で活用したいと思います。又、他校の先生方との情報交換も有意義でした。ありがとうございました。
◆日本語学校さんからのお話しがいろいろ聞けた。
◆外国人留学生の受入れが前提のように話されていたので、本校ではまだなのでまず受け入れるにはどのルートから等々、前段課員部分の研修があれば助かります。
◆OCTさんの発表は、もっと留学生に特化した取り組みの内容を教えて頂きたかったです。「留学生に対しての教育」という視点からもっと話してほしかったです。
◆他校の留学生の状況等。
◆貴重な意見の交換ができました。ありがとうございました。
◆大変参考になりました。ありがとうございました。
◆本日参加させていただきありがとうございました。色々な視点でお話しが出来、聞けるためとても勉強になりました。
◆わかりやすい日本語を使うきっかけになりました。
◆意見交換会⇒同業の学校の先生方と悩み方が共通していることを改めて知ることができたこと。
◆始めてお会いする先生がいらっしゃり、いろいろなご意見を伺えてよかったです。
◆参考になりました。

## 3)今後取り上げてほしいテーマ

・留学生対応マニュアルの内容についての具体例などがあれば知りたい
・ビザの申請関係（新任向け）・入管取次申請関係
・出席率が悪い留学生に対しての対応策、（卒業や退学後の）不法滞在を防ぐための方策など
・留学生への生活指導について良いアイディアがあれば伺いたいです。
・在籍管理と各校の工夫した取り組み

## ４．成果および成果目標における達成状況

（１）成果物について

日本の専門学校が行う職業教育の質の高さや、グローバル人材へのニーズへの理解を得るためには、専門学校における入口から出口までを示す必要があると考える。

その点において、今回作成した成果物は、以下の項目に基づき構成していることから、当初の目的に沿った物であると言える。

・外国人留学生にとって大阪で学ぶ・働く・文化に触れることができ、企業にとっては実際に働いている元留学生たちの情報を得ることができる広報冊子であること

・アセアン諸国および企業へ向けて、専門学校という学校種への理解促進を図ること
（職業訓練とは違う教育内容や、入学のための条件等への理解など）

・大阪という地域での魅力ある教育内容や取り組み、また実際に生活し就学している留学生の具体例をアセアン諸国へ向けて発信すること

・卒業後の進路や日本での就職に関する事例を広報すること

（２）広報および活用について

映像コンテンツについては、インドネシア・台湾・ミャンマー・ベトナム・シンガポール・スリランカ・モンゴル・タイに配信した。また、広報物の配布については、日本国内の日本語教育機関及び全国の専修学校各種学校事務局、関西地区の各企業へ配布を行った。

配布先企業においては、当連合会が留学生委員会主催事業において平成２８年、２９年ともに実施してきた留学生採用企業交流会参加企業とし、ニーズに応じた広報を実施した。

映像コンテンツおよび留学生支援サイトについては、２次利用が可能な動画とし、次年度以降も活用できるものとし今後も、過去７年間において連携してきた日本語教育機関や各団体を中心に引き続き広報するとともに、大専各のホームページ等も活用し、広く周知していく予定である。

【専門学校魅力発見 BOOK 配布先】

| | | |
|---|---|---|
| ① | 全国の日本語教育機関における進路指導担当者および留学生 | ４７５件 |
| ② | 全国専各事務局 | ４８件 |
| ③ | 大専各会員校 | １７６件 |
| ④ | 関西地区各企業（平成 28 年度、29 年度　大専各主催企業交流会参加企業） | １０７件 |
| ⑤ | 行政 | １５件 |

なお、冊子を PDF データ化し大専各ホームページ・大専各留学生支援サイトに掲載。

残りは当団体理事会等、会議で使用。

【映像コンテンツ Enjoy studyimg in Osaka, Japan】

番組（23 分）ダイジェスト版 CM（60 秒）を製作し、海外 8 カ国（インドネシア・ミャンマー・ベトナム・台湾・シンガポール・タイ・スリランカ・モンゴル）配信放映。YouTube に大専各公式チャンネルを開設し、設置。

Web サイト

「大専各　留学生支援サイト」　http://www.daisen-ryugaku.com/

「TCE 財団サイト」　http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/index.html

「日本教育基盤財団サイト」　ページ掲載調整中

※上記サイトにて、YouTube へのリンク接続を行なう。また、映像コンテンツを DVD 化し、2/23 開催された国際シンポジウムでの放映、ならびに海外ゲストに寄贈。

【大専各　留学生支援サイト】　URL　http://www.daisen-ryugaku.com/

海外の留学前、留学を検討している潜在層へのアプローチと日本留学への動機付けに役立つ情報発信と認知促進のためサイトをより活性化させる事を主眼とし、アクセスしてくるユーザーの動向を収集する仕組みの導入とともにサイトの充実と活性化で「関西」と「専門学校職業教育」の普及及び本事業の告知・周知等を一層高め、国内外への情報発信に努める。

今年度対応する海外言語は、英語・繁体字・簡体字・ベトナム語の 4 言語とし、次年度以降でインドネシア語・ビルマ語など状況により、対応言語の拡大を検討していく。なお、多言語頁は、サイト構成を複雑化させないために 1 言語 1 頁のシンプルなものとしスマートホン対応のためワンカラム構成にした。また、『専門学校職業教育 魅力発見ＢＯＯＫ』『映像コンテンツ』もサイト上で閲覧できるようにすることにより、今まで以上にサイト内のコンテンツが充実していくように設計した。

## ５．次年度以降における課題・展開

海外および国内においても、専門学校の教育内容について十分な理解を得ているとは言い難い。そのため、今年度制作した各媒体を活用し、引き続き日本の専門学校の職業教育の質の高さを海外や企業各所に訴求していく必要がある。また、近年では少子高齢化による労働人口減少や社会のグローバル化に伴い、技術的分野の外国人労働者に対する企業ニーズが高まっていることも、専門学校教育の最大の魅力は出口、つまり就職に直結した教育内容にあると訴求できるポイントである。

多様な企業ニーズに沿った専門人材の育成ができる専門学校の魅力は、日本の魅力発信にもつながることから在留資格の緩和または新しい在留資格の創出がなされることを期待したい。

一方、日中関係の変化や日本企業の ASEAN 地域への進出に伴い、ベトナム、ネパールをはじめとする非漢字圏からの留学生が急増している。

このような状況から、専門学校においても留学生専門学校が実際に留学生を受入れるにあたり、教員に向けて入学要件の整理や在籍管理、非漢字圏からの留学生に対する語学教育と専門教育の在り方など、実施する教育内容の質保証について、業界全体で取り組んでいくことが急務である。

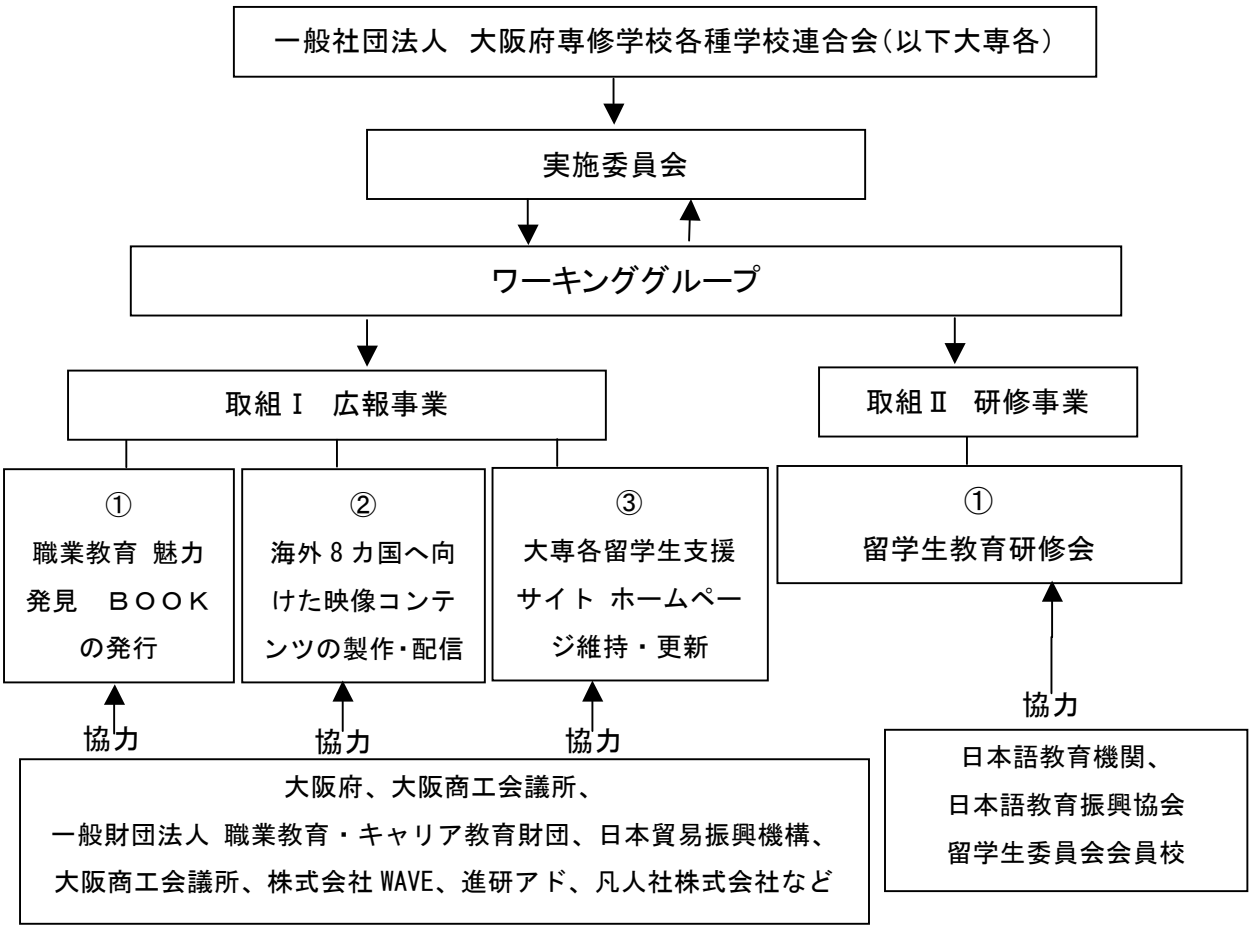
またこれらの課題を解決していくため、各地域において対策となる事業を実施していくのは当然であるとともに、専修学校業界で取り組んでいくため引き続き他府県との連携を強固にしていく事が必須であると考える。

次年度以降においても、状況の報告や課題解決のための方策について共有するとともに、各地域の特性を生かした事業及び業界全体として取り組むべき事業のすみ分けを行ない、より効果的な留学生施策を実施していく予定である。

## ６．事業実施体制

事業実施に係る連携体制

（１） 実施体制




◆実施委員会

| | 氏名 | 所属・役職 |
|---|---|---|
| 1 | 福田益和 | 大阪府専修学校各種学校連合会　理事長<br>大阪工業技術専門学校　理事長 |
| 2 | 田中祐司 | 辻調理師専門学校　事務局長 |
| 3 | 鱧谷貴 | 大阪商工会議所人材開発部長 |
| 4 | 曽根一朗 | 日本貿易振興機構　大阪本部長 |
| 5 | 藤澤知治 | 大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課 |
| 6 | 長谷川惠一 | 大阪府専修学校各種学校連合会留学生委員会委員長<br>エール学園　理事長 |
| 7 | 上田哲也 | 大阪エンタテインメントデザイン専門学校　理事長 |
| 8 | 平岡憲人 | 清風情報工科学院　理事長 |
| 9 | 瓶井修 | 日本メディカル福祉専門学校　校長 |
| １０ | 冨永桂多 | 関西外語専門学校　理事長 |
| １１ | 木村泰一 | ECC 留学生センター　センター長 |
| １２ | 山下裕貴 | 修成建設専門学校　理事長 |

◆ワーキンググループ

| | 氏名 | 所属・役職 |
|---|---|---|
| 1 | 長谷川惠一 | 大阪府専修学校各種学校連合会留学生委員会委員長<br>エール学園　理事長 |
| 2 | 萩原大作 | エール学園　理事　校長 |
| 3 | 崎村真 | エール学園　理事　本部長 |
| 4 | 上田哲也 | 大阪エンタテインメントデザイン専門学校　理事長 |
| 5 | 津川龍一 | 大阪エンタテインメントデザイン専門学校<br>学生サポート促進部　次長 |
| 6 | 平岡憲人 | 清風情報工科学院　理事長 |
| 7 | 古畑和彦 | 清風情報工科学院　留学生広報部長 |
| 8 | 瓶井修 | 日本メディカル福祉専門学校　校長 |
| 9 | 瓶井剛 | 日本メディカル福祉専門学校　理事長 |
| １０ | 冨永桂多 | 関西外語専門学校　理事長 |
| １１ | 木村泰一 | ECC 留学生センター　センター長 |
| １２ | 山下裕貴 | 修成建設専門学校　理事長 |
| １３ | 松野弘美 | ㈶トラベルジャーナル学園　広報部　広報課　主査 |
| １４ | 小島賢久 | 森ノ宮医療学園専門学校　森ノ宮医療大学　教授 |
| １５ | 浜野哲二 | 大阪工業技術専門学校　学園事務局部長 |
| １６ | 中山羊奈 | 大阪 YWCA 専門学校　校長 |
| １７ | 望月温 | 大阪 YMCA 国際専門学校　語学・ビジネス専門課程　学科長 |
| １８ | 藤田りか | 大阪 YMCA 国際専門学校　日本語学科　主任 |
| １９ | 柴田聖子 | 大阪バイオメディカル専門学校　理事 |
| ２０ | 岡田智幸 | 近畿社会福祉専門学校　留学生担当責任者<br>医療法人健和会　奈良東病院 事務局長・本部事務部長 |
| ２１ | 桝豪司 | 近畿社会福祉専門学校　校長 |

◆事業実施協力機関等

| 団体名、期間名 |
|---|
| 大阪府 |
| 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 |
| 日本語教育振興協会 |
| 大阪商工会議所 |
| 日本貿易振興機構(JETRO)大阪 |
| 株式会社 WAVE |
| 株式会社進研アド |
| 株式会社凡人社 |